

(陳受24第10号)

原発の再稼働に反対する意見書の国への提出に関する陳情

受理年月日 平成24年6月7日

陳情者 西村 まり ほか11名

陳情の要旨

去る5月5日のこどもの日に、日本国内のすべての原発が停止しました。このことは日本の子どもたちへの何よりのプレゼントだと多くの大人は考えました。

フクシマの原発の事故は、「原発」がある限り子どもたちの未来は不安に満ちたものであることを教えてくれました。私たちは取り返しのつかないことを引き起こしてしまいました。今、私たちにできることは二度と同じことを繰り返さないために、あらゆる努力をすることしかありません。

原発が停止しただけでは安全ではありません。停止した原発をできるだけ早く、安全に廃炉にもっていくための技術の開発、研究の促進をしなければいけません。そのことが表に出てこないのはなぜでしょうか。すべての原発を停止している現在の状態を維持しながら、廃炉に向けての一步一步を着実に進めることが、私たち大人に課せられた務めではないでしょうか。

私たちは原発の再稼働に反対します。既にある原発はなくすことができませんが、せめて、動かさないことで、予期できない天災や人災のリスクを少しでも減らしたいのです。

ことしの夏の電力が不足することが再稼働の一番の理由に挙げられています。国民こぞって電力の消費を減らす努力をすることで、電力危機はしのぐことができるはずですが、いや、それしか選択の余地はありません。

私たちの大切な子どもたちのために、日本を、地球をこれ以上汚染しないように、原発の再稼働をやめるように、武蔵野市議会から、国（内閣総理大臣、衆議院議長、参議院議長並びに各関係省庁）に意見書を提出してください。